

広
報

さるふつ

平成28年

9月

vol.436



勉強って楽しいね！「夏休み学習会」

猿払村の 地方創生特集

いつまでも

輝き続ける

私たちの村

地方創生とは、平成26年の第2次安倍政権発足時に掲げられた、東京一極集中を是正し、地方の人口減少に歯止めをかけ、日本全体の活力を上げることが目的とした一連の施策。

なぜ、地方創生に取り組むのか？

猿払村の人口が45年後には：

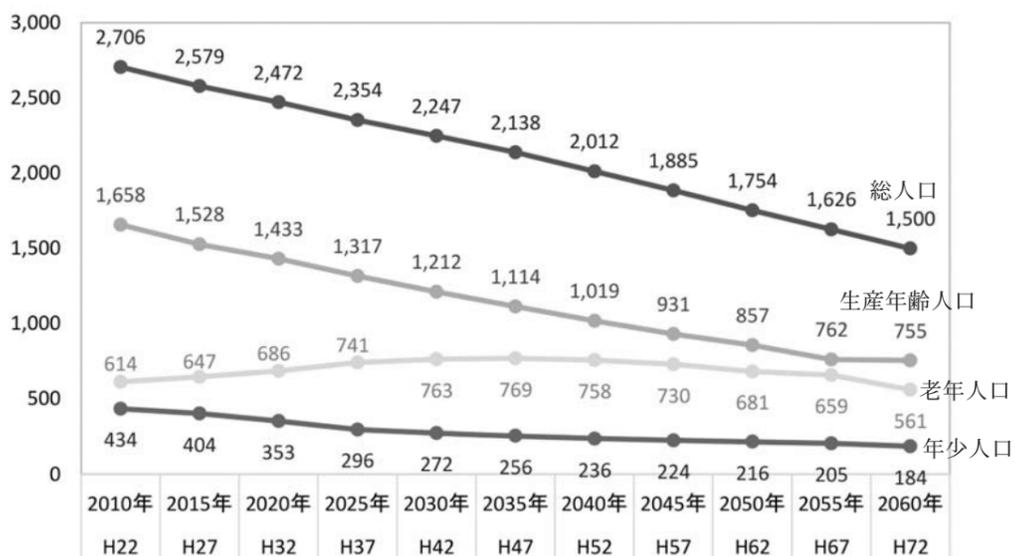
村の人口の推移

平成72年に人口が
約45%減

次の表は猿払村人口ビジョンで作成した今後の猿払村の人口を予想した猿払村独自推計の年齢3区分別人口の推移です。平成22年に2,706人いた人口が45年後には、1,500人になってしまいう予想となっています。特に生産年齢人口は、903人の減少が見込まれ、年少人口は250人の減少が見込まれています。

猿払村独自推計とは
○平成22年国勢調査の日本人人口をもとに推計。

年齢3区分別人口の推移



※年少人口…14歳以下の人口、生産年齢人口…15歳から64歳の人口、老年人口とは…65歳以上の人口

人口減少が与える影響

■働き手不足が問題に
上記のとおり、猿払村の生産年齢人口は45年後には903人の減少が見込まれています。このことにより、雇用状況に対して働き手が不足する問題を抱えることが想定されます。

■集落の維持に懸念
集落の人口規模が小さく人口減少率が高い、または高齢化率が高い地域として、小石・芦野・狩野・浅茅野・豊里・猿払の6つの地区があげられます。平成17年から22年の5年間の減少率で今後も推移すると仮定すると、50年後の平成72年には人口が平成22年の5分の1以下になる見通しとなり、集落の維持が難しくなることが懸念されます。

■教育に与える影響
現在、児童生徒数は維持されていますが、今後は親世代の人口減少が見込まれる中で、児童生徒数の減少も見込まれます。小学生と中学生にあたる5から14歳の人口について、平成22年の猿払村独自推計では、132人となる見込みで、平成22年に比べて155人減少する見込みです。児童生徒数の減少は、子どもたちの社会性の発達部分において影響があると言われています。

■個人住民税の税収が半減
個人住民税は、村の歳入において重要な収入の要素であります。平成22年の住民税が約1億9千万円に対し、平成72年には約1億円となる見込みです。税収が減ることにより、村からのサービスや公共施設などの維持管理に影響が及ぶ可能性が考えられます。

猿払村が目指す将来の方向

45年後…

2千人程度の人口維持を目指して

前ページのとおりに、人口減少が進むことにより、村の衰退が進んでいくと考えられます。そこで、いつまでも輝き続けられる猿払村を目指し、次のような視点をもって対策を行い、将来の人口減少の防止を図ります。

魅力ある雇用先の創出

転出の要因として、中学校や高校を卒業と同時に進学や就職のために転出することが一番の要因です。進学による転出は避けられませんが、就職においては村内での雇用を確保し、村を離れなくても就職できる環境づくりを進めていきます。

移住の促進

社会増減数がマイナスの状況は、転出数に対して転入数が少ないことによりです。そのため、転入を促す必要性があり、移住を推進していきます。

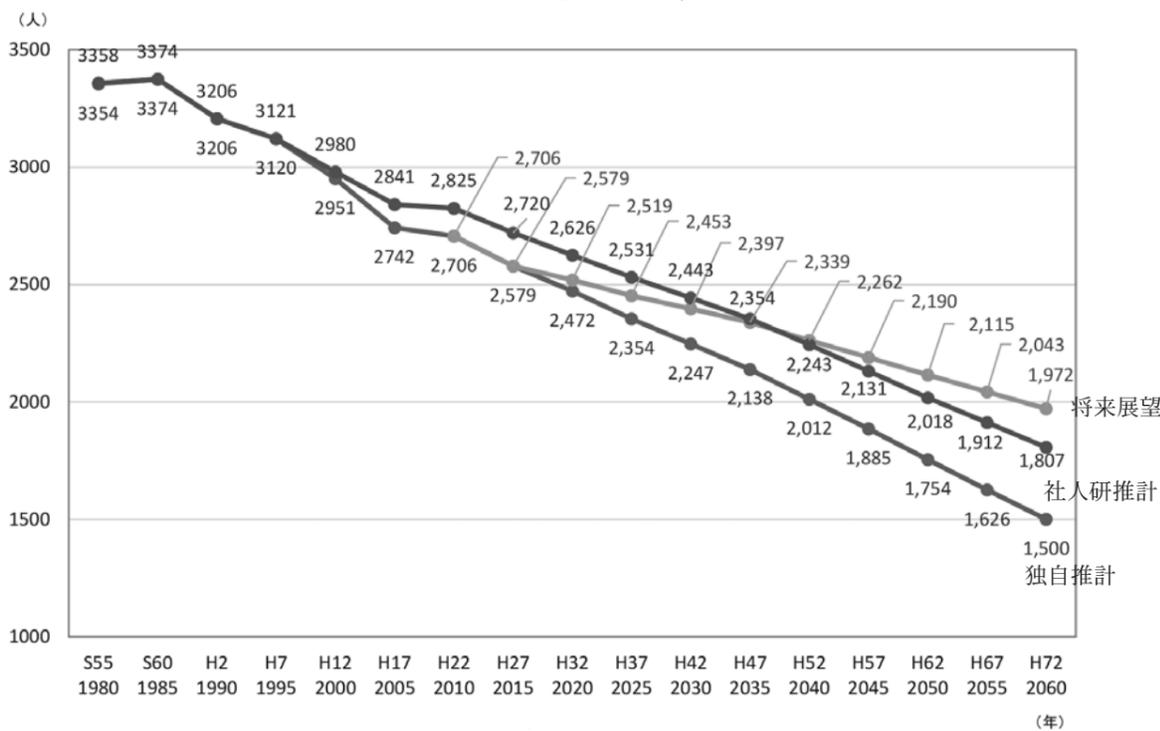
結婚・出産・子育ての支援

子どもを産む世代の減少や男性女性ともに未婚率が上昇している状況にあります。さらなる自然増を目指すため、女性の結婚や出産の希望が叶えられ、安心して子育てできる環境を整えます。

誰もが住みやすい環境づくり

転出に関しては、退職後の高齢者の転出が見られ、これはより良い住居環境を求めた転出であることが考えられます。誰もが暮らしやすい環境を作ることにより、居住環境を要因として転出することがないような住居環境づくりを進めていきます。

人口の将来展望



将来展望

出生による増

第7次猿払村総合計画等の出産・子育て支援の施策を勘案し、子ども女性比・合計特殊出生率を仮定。

移住による増

第7次猿払村総合計画等による施策により、次のとおり純移動数の改善が見られた場合の仮定

- 地域おこし協力隊が10年で4人増加
- 移住者の増加（5年間で4人家族が5世帯、計20名が移住すると仮定）
- C R Cによる高齢者の移住増：5年で5人増加

※社人研推計…国立社会保障・人口問題研究所による人口推計

輝き続ける猿払村を目指す…

平成27年度から実施の施策

きつかけを作る

猿払村移住体験ツアー

昨年の11月、猿払村へふるさとを寄附していただいた方を対象に、120名の方に猿払村へ来ていただき、移住を考えてもらう体験ツアーを実施しました。また、今年もすでに8月より行われており、104名の方が体験する予定です。

まずは猿払村の良さを知ってもら

猿払村の魅力あふれる自然を代表するカムイト沼などの景勝地やインディギルカ号遭難者慰霊碑などの歴史の地を案内し、猿払村の良いところをたくさん知ってもらいました。また、ほたてや牛乳などの猿払村のおいしい「食」を味わっていただくとともに、猿払村の一次産業を知ってもらうため、漁港やほたて干し貝柱加工場、牧場などの見学も行いました。

移住を考えてもらう

猿払村を知ってもらった後は、移住を考えてもらうため、説明会を実施し、村での生活や仕事、住居環境などについて説明するとともに、個別相談会の実施も行いました。

観光大使と連携！

東京都港区で移住フェア

昨年の10月、移住体験ツアーと同じく、猿払村へふるさと寄附をしていただいた方を対象に、猿払村観光大使である脇屋友詞シェフが経営する「Turandot 臥龍居」を会場として「さるふつ味覚まるごとフェア」を開催しました。また、ふるさと寄附者以外にも、東京都港区に住んでいる方々にPRし、多くの方に訪れていたいただきました。今年も9月30日からの3日間、同フェアを開催を予定しています。

猿払村の特産品を使った料理

ふるさと寄附者を対象に、猿払村特産品のほたて、牛乳、バターなどを使用した料理を堪能してもらい、猿払村の魅力を伝えました。

屋外テラスでの特産品販売

屋外テラスで猿払村の特産品の販売を行うとともに、脇屋シェフによる猿払村特産品特製テイクアウトメニューの販売が行われ、訪れた多くの方に猿払村を知っていただきました。また、移住相談ブースも設け、立ち寄っていただいた方と移住についての懇談等を行いました。

猿払村をより知ってもらう

ちよつと暮らし体験

猿払村への移住を考えている方に、猿払村の魅力をもっと知ってもらうため、移住について考えてもらえよう、昨年の10月に移住体験住宅を建設しました。この住宅の使用期間は、14日以上30日以内で使用にあたっては村が提供する就労体験に参加することとなっています。

木の香りがする北海道らしい家

移住体験住宅はさるふつ公園バンガローの隣に設置し、長さ12m・幅2、4mの木造平屋建てとなっています。外観は景観になじむように杉の外壁材をこげ茶色で仕上げ、内装は木にこだわった温かみのある作りとなっています。

すでに7組の方が利用！

昨年度実施した、移住体験ツアー・味覚まるごとフェアの参加者をはじめ、すでに7組の方に利用をしていただきました。また、9月以降も予約をいただきます。利用していただきたい方は、ホテルさるふつや学童保育、やすらぎ苑、株総業などで就労体験を実施するなど、より猿払村について知っていただきました。



移住体験住宅

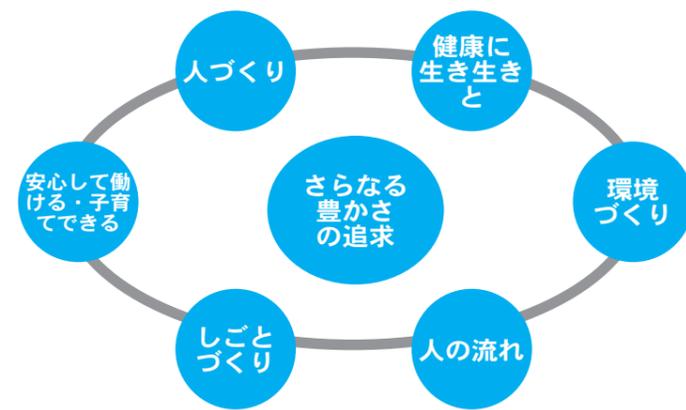


誰もが生涯活躍できる村を目指した施策

生涯活躍のまちの推進により、目指す将来像と平成28年度に新たに実施する主な事業を紹介いたします。また、平成28年度の予算額等を紹介いたします。

■将来像

～村民一人ひとりの暮らし、なりわい、自然、村全体、そして、こころも豊かにする～



生涯活躍のまち構想

国がまとめた「生涯活躍のまち」構想の考え方を踏まえ、本村に住み続けたい、住んでみたいという高齢者の意向を的確にとらえ、今後の高齢者の住居や暮らし、福祉施策、介護施策のあり方を調査・分析・検討し、これらを総合して村外から移住者を受け入れる体制づくりを基本構想・基本計画としてまとめます。策定にあたっては、継続的なケアの実現により、猿払村で生涯暮らせるまちづくり像を明確にし、趣味やさまざまな活動に意欲的な、元気な高齢者を中心に田舎への移住希望者に「選ばれる」まちづくりを進めます。

生涯活躍の学び舎

高齢者が健康で活動的な生活ができるよう、これまで猿払村で実施することができなかった内容の講座を都会等と映像と音声をつなぐことにより、実現します。さらに、移住相談窓口を開設することにより、顔を合せて移住の相談ができる環境をつくり出します。また、連携大学（明治大学・稚内北星学園大学・北海道科学大学）や友好都市・民間企業と協力し、幅広い展開を図るとともに、人の流れを猿払村へ向けるとともに、さまざまな講座から子ども豊かな教育に効果的な人材の育成を図ります。

■平成28年度主な予算額

事業名	予算額	交付金額（見込）	村の負担額（見込）
移住体験ツアー 味覚まるごとフェア	2,018万円	1,428万円	590万円
生涯活躍の学び舎事業	662万円	662万円	0万円
生涯活躍のまち構想策定	690万円	690万円	0万円
総 額	3,370万円	2,780万円	590万円

ようこそ 図書室へ！

9月は『月』に関する本』特集

図書室では毎月、数ある蔵書の中からテーマを決めて企画展示を行っています。図書室の扉を開けたすぐ目の前に、毎月のテーマにそった本を展示しています。

9月は『中秋の名月』
9月は1年で月が1番美しく見える「中秋の名月」です。秋の夜空の真ん中にきれいな満月を見ることが出来ます。そんな魅力的な月を題材としている作品をぜひ、ご覧ください。

2016下半年直木賞・芥川賞のご紹介
7月19日に発表された直木賞受賞作品「海の見える理髪店（萩原浩著）」と芥川賞受賞作品「コンビニ人間（村田沙耶香著）」の展示もあわせて行っています。

1年で月が1番きれいに見える9月
思わず読みたくなるような作品が勢揃い



オススメの2冊をご紹介

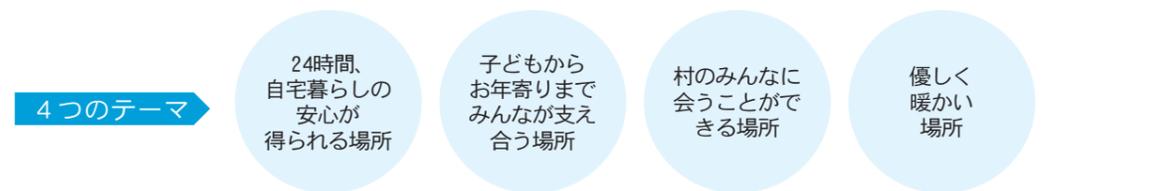
月の恋人 / テレビドラマ化もされた作品
平成22年にフジテレビ系の月9枠で放送された「月の恋人」の書き下ろし小説。不甲斐ない彼氏と理不尽な職場を捨ててひとり旅に出た弥生は、滞在先上海で葉月蓮介と出会う。蓮介は、高級家具を扱うレゴリスの若き経営者として注目される存在だった。また、中国人モデルのシューメイらを巻き込み、予測不可能な恋の物語に…。ドラマとはまた違う、小説も読み応えがあります。



おつきさまってなあに？
子どもに読んであげたい本。沼のほとりに集まった動物たちの姿の話をします。「すばしっこいさぎ？」月の正体を知りたい動物たちは、月に届きそうなく所にある博士の家にいきましました。はたして、月の正体とは？



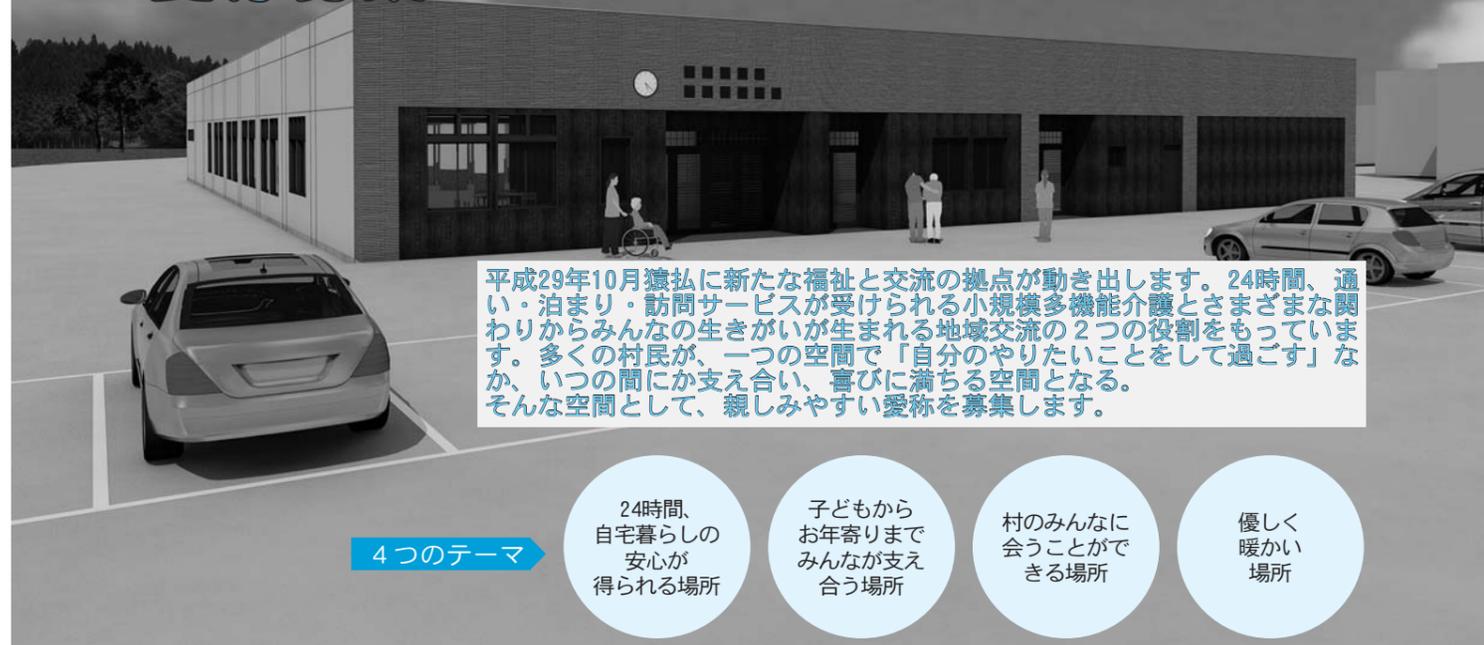
猿払村小規模多機能型居宅介護施設・地域交流施設 愛称応募用紙



ふりがな			
愛称			
愛称の説明 (意味や理由など)			
ふりがな			
氏名			
年齢	歳	性別	男・女
(学校名)			
(学年)			
郵便番号			
住所			
電話番号			
応募先	☎098-6232 北海道宗谷郡猿払村鬼志別西町172番地1 猿払村役場企画政策課高齢者・障がい者支援係 ☎01635-2-3132 ☎01635-2-3812 Eメール: postmaster@vill.sarufutsu.hokkaido.jp		

のり付け

生き生きと過ごせる空間 猿払村小規模多機能型居宅介護施設・地域交流施設 愛称募集



のり付け

応募資格 猿払村民（年齢問わず）

募集期間 平成28年9月1日木～9月30日金（郵送の場合当日消印有効）

応募方法 応募用紙に次の事項を記入の上、郵送、FAX、Eメールでご応募ください。
 ①施設の愛称（ふりがな）②愛称の意味、考えた理由③氏名（ふりがな）④年齢
 ⑤性別⑥郵便番号⑦住所⑧電話番号⑨（学生の場合）学校名・学年
 ・応募できる施設の愛称は他の類似施設で使用されていないものとします。
 ・採用作品に関する諸権利は、猿払村に帰属するものとします。
 ・個人情報、本募集に関わる目的にのみ使用し、他の目的には使用いたしません。

審査 村長を委員長とした審査委員会で審査を行います。

表彰 審査のうえ3点を表彰し、広報さるふつで公表する予定です。
 なお、最優秀賞に選定された作品を施設の愛称とします。
 最優秀賞 1万円相当の村特産品
 優秀賞 5千円相当の村特産品
 特別賞 3千円相当の村特産品

応募先 ☎098-6232 北海道宗谷郡猿払村鬼志別西町172番地1
 猿払村役場企画政策課高齢者・障がい者支援係
 ☎01635-2-3132 ☎01635-2-3812
 Eメール: postmaster@vill.sarufutsu.hokkaido.jp

第2回 地域おこし協力隊の活動のご紹介



活動のご紹介

武田裕隊員は平成26年9月に設立された、一般社団法人猿払ななかまどの会のお手伝いをしています。猿払ななかまどの会はさまざまな障がいをもつ子(者)、社会に出ることに戸惑っている人たちの居場所や暮らしの環境づくりに取り組むため、障がい福祉サービス事業所の設立を目指しています。主な活動として、障がい者に関する情報の普及や啓発、日常生活に関する相談の提供、体験や就労の場の確保です。武田隊員は、障がいをもつ子(者)の就労の場の基礎を作る活動として、毎週土・日曜日及び祝日にさるふつ公園で販売するためのパン製造と野菜作りをしています。



猿払村でも働けるように

私は昨年の11月に地域おこし協力隊として着任し、ななかまどの会のお手伝いもさせて頂いていただいています。現在は、村に住む障がいをもつ方が今後、この猿払村で仕事ができるよう、その仕事の基礎を作るお手伝いとして、パンの製造と野菜作りをしています。この活動が今後、村に住む障がいをもつ子どもたちが高等養護学校等を卒業したとき、村に帰ってこれるようになり、それが地域の活性化の一つにつながることを思います。詳しい活動として、毎週土・日曜日及び祝日にさるふつ公園で販売する宗谷の塩を使った塩パンやクリームパン、ウインナーパンなどを作っています。また、村民農園の一部を利用してきゅうりやじゃがいも、大根などの生産をし、販売もしています。この野菜の特徴は収穫したてでもおいしく、身体に優しい無農薬野菜となっていることです。

地域おこし協力隊とは：人口減少や高齢化等の進行が著しい地方において、地域外の人材を積極的に受入れ、地域協力活動を行うてもらいたい、その定住・定着を図ることで、意欲ある都市住民のニーズに応えながら、地域力の維持・強化を図っていくことを目的とした制度です。

誰もが猿払村で安心して過ごせる地域共生社会の実現を目指して
猿払ななかまどの会をお手伝いしている武田裕隊員

料 7 紙



差出有効期間
平成29年3月末日
まで
(切手不要)

〒098-6290

宗谷郡猿払村鬼志別西町172番地1

猿払村役場 企画政策課

高齢者・障がい者支援係 行



のり付け

『愛称募集』応募について

★申し込みの際は、事前に必ずご覧ください。

【村民の皆様へ】

村では、平成29年10月に《地域交流施設・小規模多機能型居宅介護施設》をオープンする予定です。そこで、この施設の【愛称】を募集します。応募要項は広報さるふつかホームページをご覧ください。表彰者には、【猿払村特産品】を贈呈します。皆さまから多くの応募をお待ちしています。

【申し込み方法】

- 1 郵送(切手不要)
裏面の『愛称募集』応募用紙に記入の上、のり付けをして郵送してください。なお、送料は無料です。
- 2 ファクシミリ(FAX)
裏面の『愛称募集』応募用紙に記入の上、2-3812へ送信してください。
- 3 Eメール
次のアドレスまで、送信してください。
postmaster@vill.sarufutsu.hokkaido.jp



子ども村議会

こんな猿払村にしてほしい！

8月2日、役場で子ども議会（鬼志別保育所 学童保育事業）が行われました。子ども議会は、実際に行われる村議会と同じく、子どもたちが議長・議員を務め、事前に質問内容を村長へ提出し、行われました。10人の子どもたちは「図書館を作ってほしいです。」や「子どもから大人までが楽しめるお祭りやイベントをふやしてほしいです。」などのさまざまな質問をし、村長、副村長、教育長が質問に対して、一人ひとり丁寧に答えました。



ふるさと新たな魅力発見学習会

空から見る猿払村！

8月4日、ふるさと新たな魅力発見学習会（観光協会主催）が行われ、60人の村民が参加しました。稚内空港へ向かう途中、猿払村に関するさまざまなクイズに挑戦してもらいました。また、遊覧飛行では、利尻島・礼文島を周り、猿払村の景色を眺めました。特に猿払村の景色は、雲もなく、きれいに街並みや自然を見ることができ、改めて自分が住んでいる猿払村について考えるきっかけづくりとなりました。



ちびっこ夏祭り

たくさん子どもたち大集合！

8月21日、さるふつ公園でちびっこ夏祭り（観光協会主催）が行われ、多くの村民や観光客が訪れました。子どもたちは、射的やおもちやすくい、輪投げなどの縁日を楽しみました。また、ヘビの首巻体験やフクロウの腕寄せ体験、ヤギやうさぎへのエサやり体験なども行われ、普段あまり経験をすることができない体験に感動していました。



トラック協会杯第28回全道少年団サッカー大会

全道大会の舞台へ！

8月23日、猿払村サッカー少年団の上野蒼太朗さんと吉岡悠聖さんが9月17日から札幌市で行われるトラック協会杯第28回全道少年団（U-11）サッカー大会への出場を村長へ報告しました。2人は、大会出場のため、稚内のチーム「稚内ラソフォルティスFC」に加入。宗谷地区予選に出場し、予選リーグを2勝0敗で突破したあと、準決勝で利尻サッカー少年団に4対0で勝ち、決勝戦では枝幸バリエンテに3対0で勝ち、見事優勝を飾りました。



さるふつちびっこホタテ牛乳マラソン大会

1等賞を目指して、よーいドン！

8月11日、第6回さるふつちびっこホタテ牛乳マラソン大会がさるふつ公園で行われ、保育所から小学生までの44人が参加しました。子どもたちは、保護者や関係者から励ましの声援が送られるなか、1位を目指して一生懸命走っていました。

【優勝者のご紹介】敬称略

- [保育所] 男子 佐川 昊 女子 山田 望結
- [1・2年生] 男子 吉田 幸毅 女子 佐川 姫星
- [3・4年生] 男子 佐川 颯 女子 須藤 菜央
- [5・6年生] 男子 石黒 渉音 女子 吉田 和奏



夏休み学習会

勉強の楽しさを知る！

8月13日から15日、夏休み学習会（教育委員会主催）が小学3年生から6年生を対象に行われました。今年で3年目となるこの取組みは、昨年同様に北海道教育大学札幌校などの学生が子どもたちに、さまざまな体験活動や学習機会を提供するもので、学ぶことの楽しさを知るきっかけ作りを目的として実施しています。今年、国語や算数をはじめ、理科の燃焼実験や地図帳を活用した「都道府県カルタ」を行い、子どもたちは楽しそうに学習をしていました。

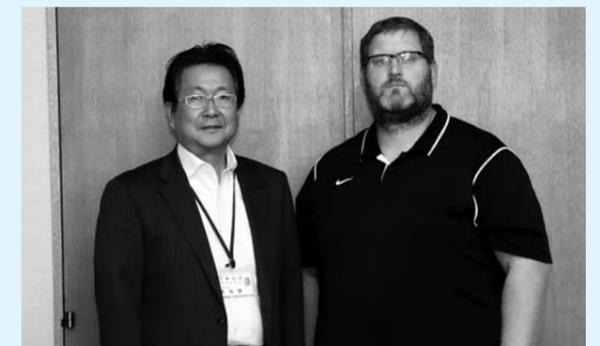


新ALTのご紹介

アレリー・ジョシュア・マイケル先生

アメリカのネブラスカ州から来ましたアレリー・ジョシュア・マイケルと申します。36歳です。私はカリフォルニア州のトレーシー市（人口約8万4千人）に生まれました。2002年から2011年の間、日本の芽室町と豊頃町に住んでおり、今と同じく外国語指導助手として働いており、2008年に結婚をしました。2009年には男の子が生まれ、2011年にアメリカのネブラスカ州に引っ越したあと、2013年に女の子が生まれ、現在では家族4人で過ごしています。アメリカにいたころは、高校の教師を5年間やっていました。趣味はスポーツで、野球やバスケットボール、レスリング、サッカー、ゴルフがとても好きです。また、自分がやる以外にも、スポーツを教えることもたいへん好きで、アメリカにいるときは、息子にサッカーとレスリングを教えていました。

猿払村では、たくさんの方との出会いがとても楽しみです。どこかで見かけたときはぜひ、声をかけてください。その時は、ゆっくり話しかけてくれたら嬉しいです。よろしくお願いいたします。



新役場 新しい顔

5月から8月までに新たに採用された3人の村職員をご紹介します。



総務課
情報防災係
出身地 富良野市

笑顔を忘れずに仕事に取り組みます！
西岡 淳 主査
私は主に猿払村光ネットワーク・庁内ネットワークの整備や管理に関わる業務をしています。村内の光ケーブル管理から音声告知端末の放送管理など多岐にわたりますが、毎日勉強の日々で、一日も早く仕事になれ、村民の皆様に顔をおぼえてもらい、頼りにされる職員を目指していきたいです。どうぞよろしくお願いいたします。

一人ひとりとつながりを大切にします。

秋元 宥菜 保育士



鬼志別保育所
保育係
出身地 猿払村

私は鬼志別保育所に勤務しています。こゝ猿払村で生まれ育ちました。お世話になった皆さまに恩返しができるよう、精進して参りたいと思います。地域に根差した保育、個性を生かし伸ばせる保育を目指し、子育て世代はもちろん、それ以外の皆さまとの関係も大切にしてまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

住民の方に信頼されるように頑張ります！

成澤 好貴 主事



企画政策課
高齢者・障がい者
支援係
出身地 枝幸町

私は現在、企画政策課で主に小規模多機能型居宅介護施設・地域交流施設に携わっています。今は施設をつくるにあたって様々な方とお会いして少しでも親近感を持ってもらえるように努力しています。そして、地域のみなさんに良い施設だねといった足を運んでいただけるように頑張っていますので、よろしくお願いいたします。

情報 広場

年金生活者等支援 臨時福祉給付金

○年金生活者等支援臨時福祉給付金（障害・遺族年金受給者向け）とは？
「一億総活躍社会」の実現に向け、賃金引上げの恩恵が及びにくい、低所得の方への支援によるアベノミクスの成果の均てんの観点や、所得全体の底上げを図る観点に立ち、社会保障・税一体改革の一環として平成29年度から実施される年金生活者支援給付金の前倒しの位置づけになることも踏まえ、また、平成28年度の個人消費の下支えにも資するよう、所得の少ない障害・遺族年金等の受給者を対象に年金生活者等支援臨時福祉給付金を実施します。

○給付対象者

平成28年度臨時福祉給付金（簡素な

給付措置）の対象であり、平成28年5月分の障害・遺族年金等の受給者が対象となります。
※平成28年度の臨時福祉給付金の給付対象であることが前提。また、今年の4月から実施された低所得の高齢者向け年金生活者等支援臨時福祉給付金の給付を受けた方は支給対象外となりますのでご注意ください。

○給付額
対象者1人当たり3万円です。給付は1回限りです。

○申請先
平成28年1月1日時点で猿払村に住所がある場合は、猿払村が申請先となります。平成28年1月2日以降に猿払村に転入されている場合は、転入前の市区町村にお問い合わせください。

○申請時期
村では、平成28年9月中旬を目途に、申請の受付を開始いたします。

○申請書の配布
村から、年金生活者等支援臨時福祉給付金（障害・遺族年金受給者向け）の支給対象となった方に対して、申請書を配布いたします。

■保健福祉課

☎212040

臨時福祉給付金の「案内」

○臨時福祉給付金（簡素な給付措置）とは？

消費税率の引上げによる影響を緩和するため、所得の低い方に対して、制度的な対応を行うまでの間の暫定的・臨時的な措置として、臨時福祉給付金を支給します。（今回の支給は平成28年10月から平成29年3月までの期間の消費税増税分に相当しています。）

○給付対象者

平成28年度分の村民税が課税されない方が対象です。ただし、次に該当する方は対象外となります。

- ①課税されている方の扶養となっている場合
- ②生活保護制度の被保護者となっている場合

○給付額
対象者1人当たり3千円です。給付は1回限りです。

○申請先
平成28年1月1日時点で猿払村に住所がある場合は、猿払村が申請先となります。平成28年1月2日以降に猿払村に転入されている場合は、転入前の市区町村にお問い合わせください。

■保健福祉課

☎212040

○申請時期
村では、平成28年9月中旬を目途に、申請の受付を開始いたします。

○申請書の配布
村から、平成28年度村民税が課税されない方等に対して、申請書を配布します。

【むらに一言】

【問】公務員の副業について(村内在住・匿名希望)

岐阜で公務員が副業をして6ヵ月の停職になりました。地方公務員法と聞いていたのですが…。先日、新聞に名前が載っていましたが、猿払村は副業を認めているのですか？

※個人名の特定につながる記述について、一部編集しています。

【答】総務課総務係がお答えします

公務員の副業につきましては、「地方公務員法」第38条により、「許可を受けなければ、報酬を得て事業や事務に従事してはならない。」と定められています。猿払村の場合においても、許可を受けずに村職員の業務ではない「副業」を行った場合、地方公務員法違反となります。村の職員としての職務以外で報酬を得ることなどについての許可を得ている者は複数名おりますが、「職務に支障を来たさない範囲の中で実施すること」を条件として許可しています。なお、許可を受ければ自由に副業が行えるものではなく、あくまで職務に支障を来たさない範囲の中で許されるものでありますので、既に許可した職員に対してもこの点を充分留意すること、またすべての職員に対して、無許可による副業の実施は処分の対象であることを改めて通知しておりますので、ご理解いただきますようお願いいたします。

引っ越しの片付け、掃除などは、 身近な便利屋さんにお任せください。

気になっている事は何でもご相談下さい。

猿払村のホクエイは、
地域の皆さんの暮らしを応援します。



サービス内容

自分では出来ない事、誰にも頼めない時、忙しい時、遠くて行けない時などに便利屋さんをご活用ください。

- 不要品処分、ハウスクリーニング。
- 風呂・台所・トイレなど水廻りの困りごと。
- 棚・収納がほしい。○高所作業
- 壁紙・カーテンを取り替えたい。
- 照明を交換したい。○火災報知機の設置
- ボイラー、ストーブの修理・交換
- 介護・手摺設置・バリアフリーリフォーム
- 玄関ドア、サッシの交換・網戸の取付
- 屋根葺き替え・塗装・補修
- 外壁補修・塗装、サイディング貼り替え

◎対応エリア
猿払村、浜頓別町

どんな小さなお困り事でも
お任せください。
ご相談、お見積は無料です。



▲お電話一本で伺います。

9月 むらのカレンダー		
1 日	日本脳炎ワクチン予防接種	15:00 国保病院
2 日	乳がん検診 水痘ワクチン予防接種	9:00 保健福祉総合センター 15:00 国保病院
3 日	乳がん検診 子育て講演会&家庭教育講座& 猿払村PTA連合会研究大会	9:00 保健福祉総合センター 14:45 猿払村交流センター
4 日	イチニの会	9:30 村内
5 日	アップルエアロビ教室 中央芸術学校公演	10:00 保健福祉総合センター 10:00 鬼志別小体育館
7 日	4種混合ワクチン予防接種 子育て講座「布ナブ はじめの一步。」	15:00 国保病院 10:00 鬼志別保育所
8 日	日本脳炎ワクチン予防接種 お出掛けちびっこ広場 移動図書館車「なかよし号」巡回	15:00 国保病院 10:30 さるふつ公園 12:30 浅茅野台地 13:05 浅茅野小
9 日	日本脳炎ワクチン予防接種 アップルエアロビ教室	15:00 国保病院 10:00 保健福祉総合センター
12 日	移動図書館車「なかよし号」巡回	10:15 知来別小 12:50 浜鬼志別小
14 日	4種混合ワクチン予防接種	15:00 国保病院
15 日	日本脳炎ワクチン予防接種 すやすや広場 (お散歩)	15:00 国保病院 10:30 鬼志別保育所
16 日	B C G ワクチン予防接種	15:00 国保病院
20 日	ちびっこ広場 (いもほり)	10:00 鬼志別保育所
21 日	小児肺炎球菌ワクチン予防接種 ヒブワクチン予防接種	15:00 国保病院 15:00 国保病院
23 日	麻しん風しん混合ワクチン予防接種 アップルエアロビ教室 おはなし広場	15:00 国保病院 10:00 保健福祉総合センター 10:30 鬼志別保育所
26 日	移動図書館車「なかよし号」巡回	10:15 特別 12:40 芦野小 13:20 鬼志別小
28 日	小児肺炎球菌ワクチン予防接種 ヒブワクチン予防接種 すやすや広場 (ホール遊び)	15:00 国保病院 15:00 国保病院 10:30 鬼志別保育所
29 日	いきいき・男合同栄養教室 日本脳炎ワクチン予防接種	10:00 保健福祉総合センター 15:00 国保病院
30 日	ゆっくり栄養教室 浜鬼移動広場	11:00 保健福祉総合センター 10:30 浜鬼志別保育所

10月 むらのカレンダー		
3 日	アップルエアロビ教室	10:00 保健福祉総合センター
4 日	浅茅野移動広場	10:30 浅茅野交流センター
5 日	4種混合ワクチン予防接種 ちびっこ広場 (カレーライス作り)	15:00 国保病院 10:00 鬼志別保育所
6 日	日本脳炎ワクチン予防接種 子育て講座「ハロウィンのお花」	15:00 国保病院 10:00 鬼志別保育所
7 日	水痘ワクチン予防接種	15:00 国保病院

地域	世帯	男性	女性	人口	地域	世帯	男性	女性	人口
知来別	123	176	182	358 (-1)	鬼志別東町	105	108	107	215 (-2)
浜鬼志別	216	272	312	584 (+2)	鬼志別西町	201	204	220	424 (-2)
浜猿払	90	87	102	189 (-2)	鬼志別南町	154	137	149	286 (0)
浅茅野	36	33	37	70 (0)	鬼志別北町	141	114	120	234 (0)
浅茅野台地	54	78	77	155 (-2)	豊里	6	7	3	10 (0)
小石	38	26	26	52 (0)	芦野	50	64	55	119 (0)
むらのうごき 平成28年8月1日現在()内は前月比					猿払	22	21	20	41 (-2)
					狩別	10	16	13	29 (0)

戸籍の窓口
7月15日～8月14日までの届出
個人情報保護のため、本人・ご家族の希望があつたものを掲載しています。(敬称略)

お悔やみ申し上げます

氏名	年齢	住所
和田 郁夫	86歳	猿払
鈴木 正夫	91歳	浅茅野台地
東 ヒデ	95歳	知来別

ご寄附 ・・・善意をありがとうございます
村外の方から502件のふるさと寄附がありました。

ほっとメール@さるふつ

猿払村緊急情報等メールサービスへの登録をお勧めします。

一昨年12月の運用開始以来、570名のご登録をいただきました。猛吹雪時には通行止め開始、解除などの情報を提供しました。

登録はこちらまで、空メールを送信ください。

touroku@sarufutsu.info



猿払村の便利屋さん【住まいと暮らしのお悩みご相談下さい。】

(有)ホクエイ TEL01635-4-5150
FAX01635-4-5152

代表取締役 阿部直樹 E-mail: info@hokuei-home.jp

〒098-6104 宗谷郡猿払村猿払 127 番地 20

【世帯】 1,246世帯
【前月比】 -1世帯

【男性】 1,343人
【前月比】 -5人

【女性】 1,423人
【前月比】 -4人

【人口】 2,766人
【前月比】 -9人

移住体験者から

英語を学ぶ子どもたち



8月17日から27日に大阪府堺市から来村し、移住体験をした滝野淳子さんが中学3年生を対象に英語受験対策教室を開催しました。この教室は、参加した中学生の英語科目の成績向上を図るとともに、今まであまり触れなかったことのない地域の方との交流を目的としています。また、移住体験をしていただいている滝野さんにこの事業を通じて、猿払村での生活に生きがいを感じてもらうことも目的としています。

教室は、大阪府の中学校で22年間、英語教諭として活躍した、滝野さんとカナダへの留学経験のある坂本温美さんの2人により、8月24日から26日の3日間で行われました。24日と25日は、26日に控えていた期末試験対策として、教科書とワークを中心に勉強をしました。滝野さんはこの期末試験対策のため、独自に問題を作成し、子どもたちはその問題に一生懸命取り組みました。期末試験を終えた子どもたちは、教室に来た時、「先生が話していた場所がテストに出たよ！」など、勉強の成果を発揮した様子でした。3日目は、中学の英語の中でも難しい「to」を使った不定詞を中心に高校受験対策をしました。終わり際にはみんながほぼ解けるようになっており、素晴らしい成長ぶりを見せました。また、過去の高校受験で必ず出題されてきた長文問題の解法テクニックも学び、慣れない長文問題を一生懸命解いていました。

子どもたちからのアンケート

教室終了後のアンケートでは、「できるようになった」との声がたくさん寄せられました。また、「方言が聞けた新鮮だった」や「大阪府に興味をもって行ってみたいと思った」など、今までにあまり触れ合った事のない地域の方との交流も図られ、実り多い教室となりました。また、今回の教室を開催していただいた滝野さんからは「たくさん子どもたちの役に立つことができ、良かったです」とコメントをいただきました。猿払村での生活に生きがいを感じて